

【教材・教具解説シート】

教材・教具名	ウォーターベッド	教科・領域等	自立活動・体育科
教材・教具写真			
			
1 教材・教具の説明 水が入った圧縮袋に乗ることで、水に包まれるような感覚を感じたり、水をつめたさを感じることができる教具。ウォーターベッドの端を持ち上下に揺らすことで、水の音も感じることができる。また、中にプニョ玉やスパンコールを入れることで、袋の中の具体物にも興味をもちながら活動することができる。枠を用いることで、児童がウォーターベッドに乗っても水が逃げることなく、児童の下に水がある状態で活動し続けることができる。			
2 その他 圧縮袋は、掃除機の吸引口がないものを使用する。水が漏れることを想定して圧縮袋は二重にしている。活動中はバスタオルが必需品。			
参考文献・Web			

【教材・教具解説シート】

教材・教具名	ボタン掛け練習道具	教科・領域等	自立活動
教材・教具写真	(規格：縦 cm×横 cm×高さ cm)		
			
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>上肢（指先）に麻痺がある生徒のために作成したボタン練習道具。ボタンのサイズは1円玉台と本校のポロシャツと同等サイズの2種類を作製した。古着のシャツを切り取り、ボタンを変えたもの。シャツの生地は冬物の厚いも掛けていく。</p> <p>2 その他</p> <p>ボタン掛けの練習はボタンを入れる穴が横向きと縦向きで難しさが異なるようである。</p> <p>取り組みではOTの先生と生徒の実態も踏まえ、指先をどう使うかを相談し、生徒のやりやすい方法を探ることができた。今では上達して、タイムトライアルをしている。</p>			
参考文献・Web			

【教材・教具解説シート】

教材・教具名	手話カルタ	教科・領域等	自立活動・生活単元学習
教材・教具写真 (規格：縦 cm×横 cm×高さ cm)			
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>聴覚障害があり、字の読めない生徒のために作ったカルタ。生徒が理解している手話と文字を対応させ、文字を覚えられるように作った。</p> <p>まず、手話の絵を見ながら文字を書くプリント練習をした後、手話の絵カードを見て、文字を選ぶという具合に使っている。また、生徒がよく使う手話を選んで、絵の裏に文字を書いたカードも準備している。</p> <p>その他にも手話の指文字も練習できるよう、指文字のカードもあるが、なかなか文字を覚えられないため、主に絵カードを使った練習を行っている。手話の単語を増やししながら、少しでも文字を覚えてほしいと願っている。</p> <p>2 その他</p> <p>手話の語彙を増やすことへの関心は強くあるが、文字に対する興味はそれほど強くないように感じている。それでも、カードを裏返して、文字を確かめるような行動が見られるため、継続することで、カードと文字の合致率も上がっていくと思われる。</p>			
参考文献・Web			

【教材・教具解説シート】

教材・教具名	ちょう結び練習グッズ	教科・領域等	自立活動
教材・教具写真 (規格：縦 cm×横 cm×高さ cm)			
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ちょう結びの苦手な生徒に、結び方を分かりやすく説明することができるように、2色の違うひもを使って作った。 ・ いつでも、どこでも、何度でも繰り返し練習することができるように、段ボールを使い、軽量にした。 ・ ちょう結びに慣れたら、同色のひもでも結べるように、赤だけ、青だけのひもバージョンも作った。 <p>2 その他</p>			
参考文献・Web			

【教材・教具解説シート】

教材・教具名	机の位置しめすくん	教科・領域等	自立活動（環境の把握）
--------	-----------	--------	-------------

教材・教具写真



1 教材・教具の説明

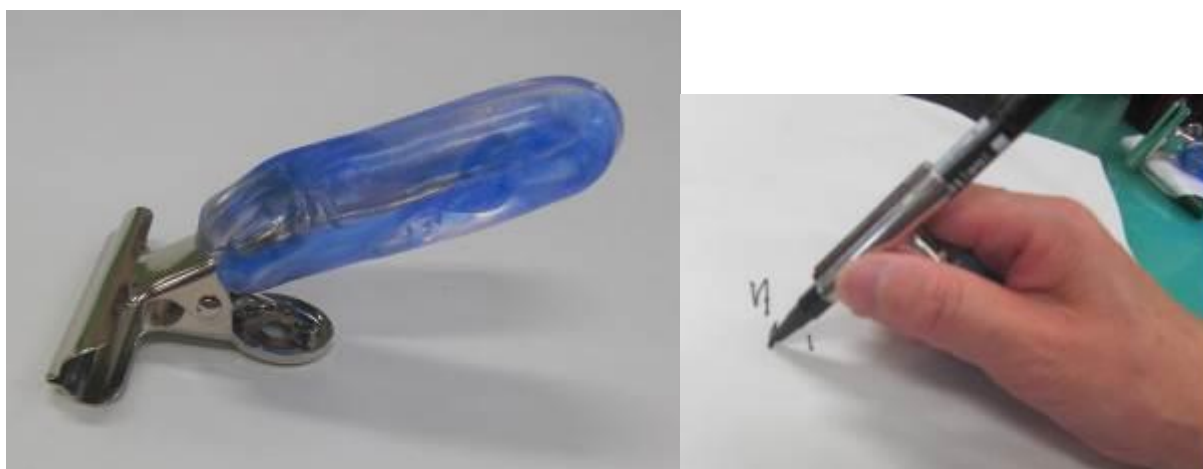
机を元の位置に戻す時に、机の下に貼り付けた色テープでは、目で床を見て色テープと机の位置を合わせることが難しかった児童の実態から、上の写真の黄色の棒とブックエンドで「机の位置をしめすくん」を作成した。この教材の利点は、机を動かしてほしいところに黄色の棒を置いてそこに机を当てるだけで机の位置が決まるため、視線が下に向きづらい児童生徒に対して有効な支援具ではないかと考える。また、ブックエンドは床にべた貼りしているわけではないので、設置・撤去が簡単で、持ち運びも楽。身近な物で作れるので、是非作ってみていただきたい。

参考文献・Web

【教材・教具解説シート】

教材・教具名	握り支援具	教科・領域等	自立活動
--------	-------	--------	------

教材・教具写真 (規格：縦8～10cm×横5.5cm×高さ4cm)



【材料の粘土の外装】



1 教材・教具の説明

- ・ 手指の握る力の弱い児童も、手指に引っ掛けやすくなり、握りやすい支援具である。クリップにペンやクレヨンなどを挟んで、描画などに取り組むことができる。
- ・ 二葉園に訓練見学に行った際、OTが使っているものを参考に、作り方を聞き自作した。

2 その他

<作り方>

- ・ 材料は、目玉クリップ・お湯で柔らかくするプラスチック粘土・芯材としての金属製クリップ大・針金。
- ・ 目玉クリップもプラスチック粘土（商品名：おゆプラ お湯で柔らかくして何度でも作れる粘土、お湯で柔らかくなるねんどイロプラ どちらでも可）も100円ショップで手に入る。
- ・ 目玉クリップに付ける柄の長さにもよるが、2袋程度の量で作れる。無色透明の粘土一袋と青の粘土一袋を混ぜて作ったものが、上の写真である。様々な色の粘土を売っているので、好みの色で作れる。目玉クリップの大きさ、柄の大きさ長さは、使用したい児童生徒の手の大きさにより、変えると使いやすい形状となる。
- ・ プラスチック粘土はお湯につけて柔らかくし、柔らかいうちに整形する。冷えると固まる。整形に失敗しても、再度お湯に浸ければ柔らかくなるので、失敗を恐れず整形できる。
- ・ 粘土だけでも強度はあるのかもしれないが、目玉クリップにクリップ大を針金で固定し、粘土の芯にし、強度をもたせた。

参考文献・Web

【教材・教具解説シート】

教材・教具名	楽々キャッチボールセット	教科・領域等	自立活動
教材・教具写真 (規格：縦 <input type="text"/> cm×横 <input type="text"/> cm×高さ <input type="text"/> cm)			
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>(1) 対象生徒：</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 手指の動きに不器用さがある。 ② 視野が定まりにくく、活動に取り掛かるまでに時間を要する。 ③ 活動の継続が難しい。 <p>(2) 使用目的：</p> <ul style="list-style-type: none"> ① ボールをキャッチすることが難しい生徒がキャッチボールを楽しむ。 ② 活動にスムーズに取り掛かり、継続することを促す。 <p>(3) 使用方法：</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 持ちやすいサイズのボールを選んで投げる。 ② グローブに手を入れて構え、ボールをキャッチする。 <p>2 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ カラフルな色のフェルトを使い、中に綿を入れてボールを作ったことで、注視しやすく、安全に使用させることができた。また、中に鈴を入れることで、聴覚でも楽しみ、意欲的に活動が続けることができた。 ○ 様々な大きさのボールを作製することで、手の大きさや持ちやすさに合わせて使用することができた。 ○ ミトンにマジックテープを縫い付けることで、ボールをつかむことが難しい生徒でもキャッチしやすくすることができた。 			
参考文献・Web			

【教材・教具解説シート】

教材・教具名	課題のノルマ表 コツコツしましょう	教科・領域等	自立活動
--------	-------------------	--------	------

教材・教具写真 (規格：縦 cm×横 cm×高さ cm)



1 教材・教具の説明

生徒が課題に取り組む際に、何をすればよいのか、どれだけ課題をこなしたら終わるのかといった、見通しをもって取り組むことができるようにした。各々の課題カードを貼り替えることで、課題の内容や数、順序を変更することができる。また、課題が済めば、評価シールを貼ることができるし、カードを取り去ることで課題の終了を明確にすることもできる。

生徒は、課題のノルマ表を見ながら、見通しをもって課題を進めることができている。また、評価シールを、生徒の好きなキャラクターにしたことで、課題に意欲をもって取り組んでいる生徒もいる。今後も引き続き、使用していきたいと思う。

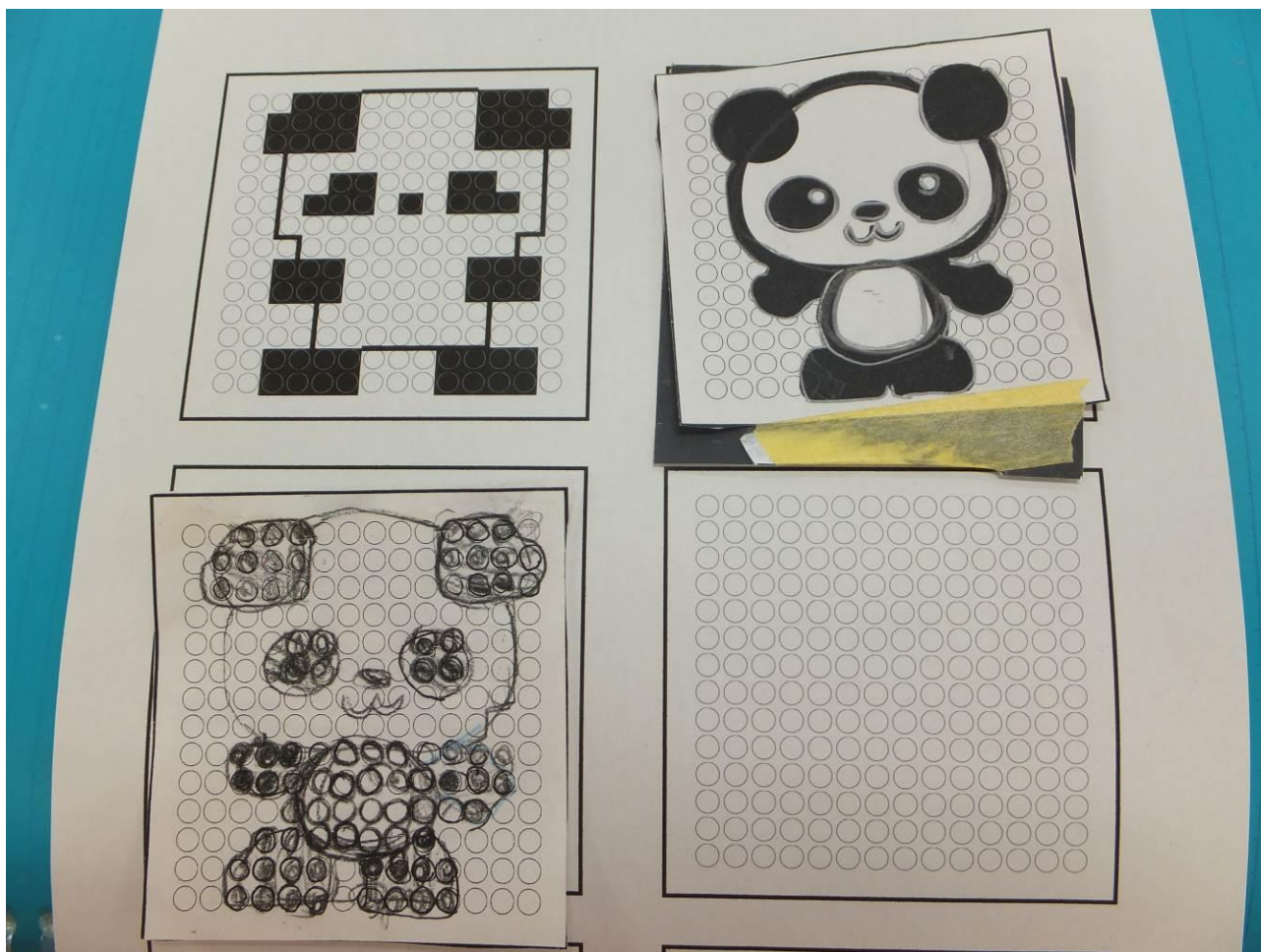
2 その他

参考文献・Web

【教材・教具解説シート】

教材・教具名	アイロンビーズ図面	教科・領域等	自立活動
--------	-----------	--------	------

教材・教具写真



1 教材・教具の説明



- ・ 学級全体でアイロンビーズの活動をする際に、それぞれの実態に応じた作品を考えるために使用した。
- ・ 20個並べること为目标にした生徒には、角の20個分を塗った図案を提示した。イラストからオリジナルの図案を作ることを目标にした生徒には、イラストを選ばせカーボン紙で転写して図案を作成する。

2 その他

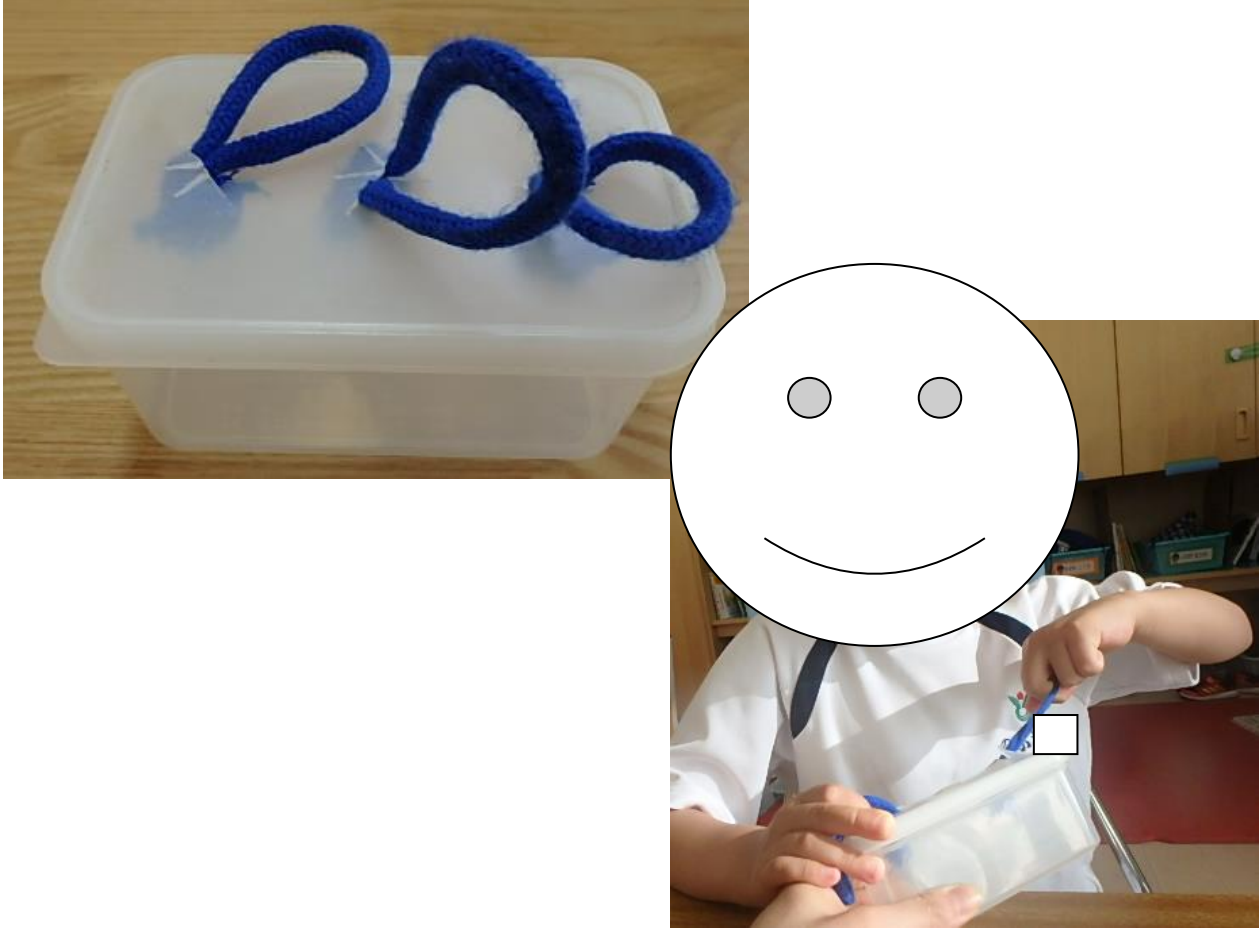
- ・ 教師が考えたデザイン、白黒のイラストを準備して配色は生徒が考えるなど、使用方法を生徒の実態に合わせて工夫することができる。
- ・ 小さいデザインを提示し、完成させることで、達成感を味わわせることができる。

参考文献・Web

【教材・教具解説シート】

教材・教具名	スプーンガイド	教科・領域等	自立活動
教材・教具写真 (規格 縦4.5cm×横2.5cm×幅1cm)			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			
<p>1 教材・教具の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ スプーンの持ち方の上手握りから次のステップに進む児童・生徒に向けた補助具 <ul style="list-style-type: none"> ・ スプーンの握りは、上から握る順手ですくって食べることができるようになっている。 ・ 教師の言うことがある程度分かり、一人で食べようという意欲と態度が見られる。 <p><以上の児童の実態から></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 逆手持ちに移行し、将来的に箸へのスムーズな移行をめざす。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 人差し指・親指を重点にガイドすることにより、難しい鉛筆持ちにチャレンジできる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 一つ一つの指をどこに置くかを児童に明確に分かるよう、児童のカラーでポイントシールを貼った。 ○ 身の回りにある物をちょっとした工夫とアイデアで簡単に活用する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 身の回りにある事務用品の機能性とコンパクト性に着目し、安全に使用できるよう、ゴムラバーでガードしたりカラーテープで保護したりした。 ○ 取り付け移動調節可能で、個々に合わせることができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 手のサイズや指の長さ、指を置く位置やポイントが短時間で変えることができるよう、クリップ式とした。 ○ 指導をする上では、どこにどの指を置けばよいかは伝えやすく、順手で持っていて持ち替えしやすい。逆手で握る経験を積むことにより、少しずつ順手を意識してスプーンを持つことができるようになってきた。 			
参考文献・Web			

【教材・教具解説シート】

教材・教具名	ひっぱり練習課題	教科・領域等	自立活動
教材・教具写真 (規格：縦 cm×横 cm×高さ cm)			
 <p>The image shows two blue fabric loops with white stitching, designed for pulling practice. One loop is placed on the lid of a white plastic container. The second image shows a child in a white school uniform using one of these loops to pull on the lid of the container. A large white smiley face is overlaid on the child's face for privacy.</p>			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>上靴のかかと部分にひもやリングを付けている児童がおり、ひもを引っ張ることが難しく、自分で靴を履くことができなかった。そこで、ひもを引っ張る自立課題を作製した。この課題は、ある程度抵抗があり、指先にぐっと力を入れなければ抜けないようになっている。抜けたときには“スッポーン”というスッキリ感もある。</p> <p>この課題に取り組み始めてから、少しずつではあるが、指先の力が強くなりつつある。</p> <p>2 その他</p> <p>100円均一のタッパーの蓋に切れ込みを入れて、輪っか状にしたひもを付けている。</p>			
参考文献・Web			

【教材・教具解説シート】

教材・教具名	風船モビール	教科・領域等	自立活動
--------	--------	--------	------

教材・教具写真 (規格：縦250cm×横200cm×高さ120cm)



1 教材・教具の説明

- ・ 本学級の児童は皆、重度重複障害をもつ。座位保持椅子に座ることも、長時間は体力的に厳しい。そのため、教室にマットを敷いており、横になって休む時間が多い。気管切開をしていたり、胃ろう設置をしていたりするため、ほぼ上を向いて寝転んでいる。見えるのは、天井と覗き込む教師の顔。入学したばかりで環境の変化を強く感じ緊張している様子である。そんな中、微風で揺れる見つめたくなる対象として色のきれいな物、かつ美しい音がする物をつるせば、見聞きしながら気持ちが和むのではないかと考えた。
- ・ 天井近くから数本1・5～2メートル程度の長さのひもに鈴と5色の風船をランダムに取り付け、数本つるした。今後、手を伸ばし触れるように、少し長めにし、取っ手を着けて手を引っ掛け揺することも考えている。

2 その他

- ・ 本学級の児童にとって学校はまだ緊張する場であるため、目を閉じていることが多い。担任の教師の顔も真正面からあまり見ない。風船に気づいているかも表情から分からない。時間をかけて観察し、視力や興味・関心を探っていきたい。

参考文献・Web

【教材・教具解説シート】

教材・教具名	ボタンでつながるくだもの列車	教科・領域等	自立活動
教材・教具写真 (規格：縦 cm×横 cm×高さ cm)			
			
<p>※ 矢印の部分で上の布（ボタンホールのある布）と下の布（ボタンの付いている布）を小さい安全ピンで合わせて止めておき、ボタンホールとボタンの位置を固定して使うこともできる。</p>			
<p>1 教材・教具の説明</p>			
<p>ボタン操作の練習を楽しくたくさん行うことができるようにと考えた教材。1枚ずつ絵を変えて独立させることで、くだもの列車が増えていく楽しさや次に何をつなげようかと選ぶ喜びが得られるように工夫している。ボタンホールを少し大きく作っているのは、使用する児童の実態に合わせて、もう少しボタンを大きくしたり、逆にボタンホールを上から縫いこんで、難易度を高めたりすることもできると考えたからである。また、ボタンホールとボタンの位置を合わせる事が難しい場合には、上記の矢印の部分を安全ピンで合わせて、両者の位置を固定することもできる。</p>			
<p>2 その他</p>			
<p>この教材を使用して練習することで、当該児童は、ボタンホールからボタンを入れて引き出す操作を繰り返し行い、引き出す操作のこつをつかみ、今では目標だった自分のブラウスの小さいボタンをはめることができるようになった。また、ボタンはめの取組がまだ難しい児童でも、外す操作をメインにして取り組んだり、果物の名前クイズを操作の練習の中に取り入れたりすることで、いろいろな児童に使用することができた。</p>			
<p>材料は、基本の布は感触がよいフェルトを使用している。果物の絵柄は、アイロンで付くタイプのアップリケ用のフェルトで、ボタンホールは、ミシンを使用しているため、簡単に作る事ができる。</p>			
参考文献・Web			

【教材・教具解説シート】

教材・教具名	合わせてとめよう！グッズ	教科・領域等	自立活動
--------	--------------	--------	------

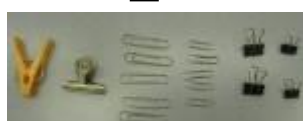
教材・教具写真 (規格：縦25cm × 横40cm × 高さ3cm)



台紙
(紙を合わせる場所が分かるように枠線や矢印が書かれている。)

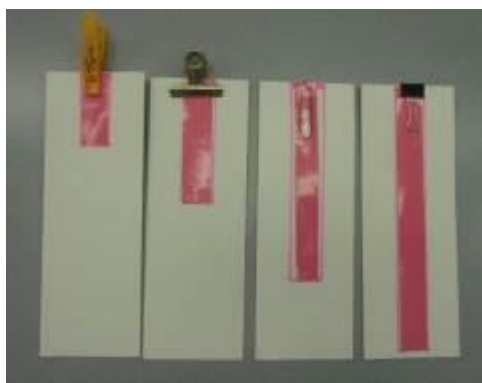


4種類の長さの紙



紙を留めるための道具
(洗濯ばさみ、クリップ等、様々な形のもの)

【 完成図 】



1 教材・教具の説明

端を合わせて、ずれないように紙を留めることを意識させるために制作した。

【工夫した点】

- ・ 4種類の長さの紙を用意し、台紙に書かれた枠線と同じ長さの紙を正しく選択できるようにする。
- ・ 台紙に矢印を書き、紙を留める位置が分かるようにする。
- ・ 様々な形の洗濯挟みやクリップを用意することで、どのような形のものでも対応できるようにする。

2 その他

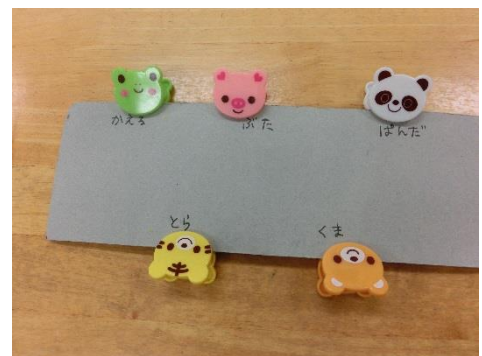
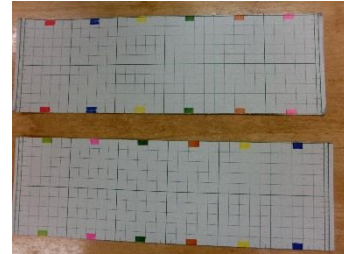
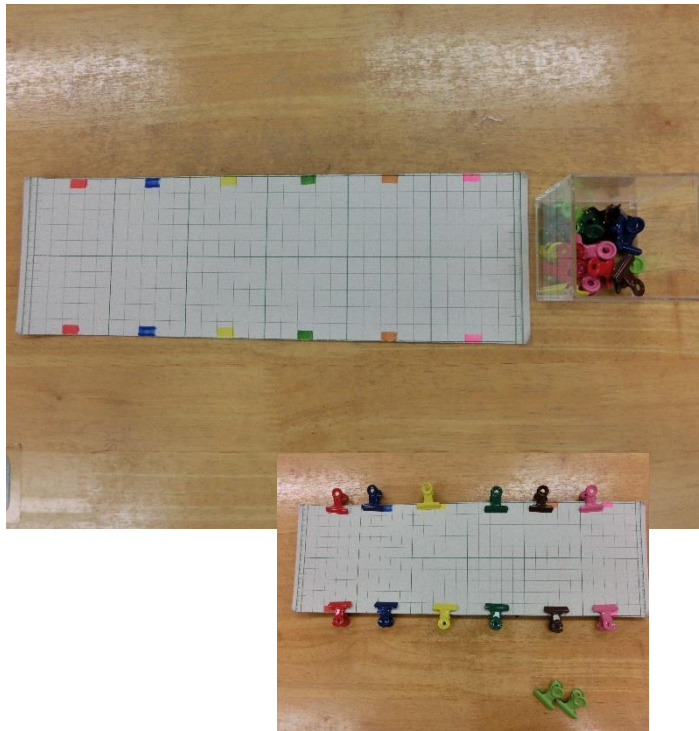
- ・ アイロンテープをずれないように、きちんと押さえることが難しい生徒がいたことがきっかけで制作した自助具。ただ留めるだけではなく、正しい長さの紙を正しい位置に様々な形の道具を使用する、という負荷を掛けたが、すぐに方法を理解し、興味をもち、繰り返し取り組むことができた。

参考文献・Web

【教材・教具解説シート】

教材・教具名	いろいろクリップ	教科・領域等	自立活動・日常生活の指導
--------	----------	--------	--------------

教材・教具写真 (規格：直径20cm)



1 教材・教具の説明

- ・ 日常生活の指導や自立活動で、色を識別し、手先の訓練をするための教具。
- ・ フェルトペンで工作用紙に書かれた色と同じクリップを挟む練習をするもの。

<やり方>

- ① 工作用紙に書かれた色を確認しながら、同じ色のクリップを挟んでいく。
- ② クリップは7色2個ずつ、工作用紙の色は6色なのでクリップが2個残るようになっている。

2 その他

- ・ 繰り返し取り組んでいると残る色が何色かわかり、初めに残る色を除いていることが分かった。それで工作用紙の色を変えたものを作った。
- ・ 色の代わりに動物のクリップを使い、「ぶた」「ぱんだ」と平仮名で書かれたところに挟むものを加えた。

参考文献・Web

【教材・教具解説シート】

教材・教具名	ACリレー	教科・領域等	自立活動・生活単元学習
--------	-------	--------	-------------

教材・教具写真 (規格：縦 25cm×横 25cm×高さ 8cm)



1 教材・教具の説明

この教材は、コンセントから電源を取るような電気製品（ミキサーやオーディオプレイヤーなど）をスイッチで操作する装置。本来コンセントから電源を取るような電気製品は電流や電圧が高く、教材で使用するようなスイッチ類の使用は危険。しかし内部の回路を二つ設けるとともに、それぞれの回路に小電流でも作動するヒューズを組み込んでいるため、安全に使用することができる。

2 その他

- ・ 材料：ボックス、ランプ、ダイオード、コンセント差込口、ラグ板、ホットボンド、ヒューズ（6Aと0.1Aのもの）、リレースイッチ、モノラルジャック等

参考文献・Web

【教材・教具解説シート】

教材・教具名	クッション	教科・領域等	自立活動
--------	-------	--------	------

教材・教具写真 (規格：縦 30cm×横 100cm×高さ 30cm)



1 教材・教具の説明

肢体不自由である児童に使用している。仰臥位姿勢の際に膝に挟んで下肢の筋緊張を緩めたり、側臥位を取る際に児童をもたれさせたりして活用している。

クッションは中身が取り出せるようになっており、中身もバスタオルを使用している。汚れてしまった際にはカバーも中身も洗濯ができるようになっており、中身のバスタオルを入れる量を変えることで、クッション全体の厚みを調整できるようになっている。

2 その他

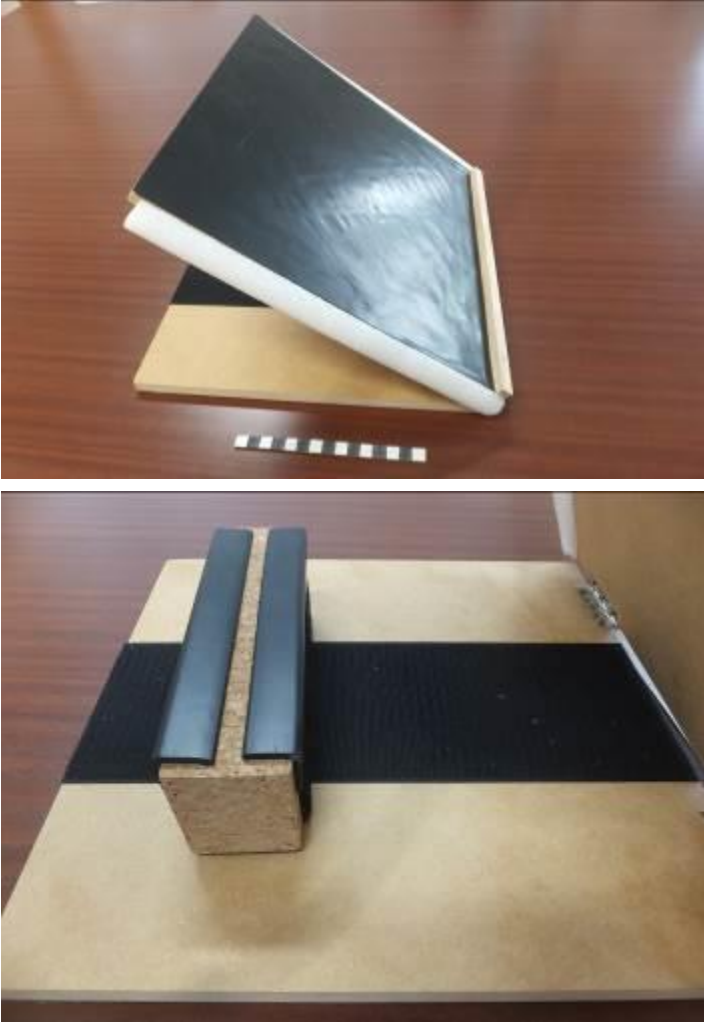
・材料：バスタオル、布、チャック

参考文献・Web

【教材・教具解説シート】

教材・教具名	リモコンスイッチ	教科・領域等	自立活動・生活単元学習
教材・教具写真 (規格：縦 20cm×横 20cm×高さ 10cm)			
			
<p>※ 平成28年度末から広島市立広島工業高等学校と本校との校種間連携（課題研究）事業を行っており、本年度初めに広島市立広島工業高等学校の生徒と教員の方から本教材を提供をいただいた。</p> <p>※ ペースメーカーを使用している場合は使用できない。</p>			
<p>1 教材・教具の説明 この教材は、スイッチ操作を行うと送信機から無線（赤外線）が出て、受信機で無線を捉え動かしたい教材を動かすことができる機能を持っている。クリスマスツリーの点灯式や少し離れた場所にある教材を作動させたいときなどに有効な教材。</p> <p>2 その他</p>			
参考文献・Web			

【教材・教具解説シート】

教材・教具名	斜面台	教科・領域等	自立活動・生活単元学習
教材・教具写真 (規格：縦 32cm×横 32cm×高さ 15cm)			
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>上肢機能に麻痺がある生徒の活動（描画やシール貼り）などで活用している。斜面にすることで肩関節や肘関節に拘縮や筋緊張など可動域の制限がある生徒が作業しやすくなる。平面で作業を行うと腕を伸展させて作業を行う形になり、発作や極端な筋緊張を誘発しがちな生徒でも斜面台を利用することで、落ち着いて作業に取り組めるようになってきた。</p> <p>斜面台の斜面の角度は、コルクの直方体を板と板で挟む形で設定できるようになっており、20° から90° まで任意の角度に設定できるようになっている。作業板の表面には滑り止めのゴムシートが貼ってあるため、バインダーなどの場合、置くだけで固定することができるようになっている。</p> <p>2 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 材料：30cm 四方の板 2 枚（厚さは 1cm 以上）、ゴムシート、コルクの直方体、滑り止めシート、ねじ、ちょうつがい二つ、マジックテープ、両面テープ、ボンド 			
参考文献・Web			

【教材・教具解説シート】

教材・教具名	十字蛇口型の蓋	教科・領域等	自立活動
--------	---------	--------	------

教材・教具写真 (規格【左】：縦7cm×横7cm×高さ1.8cm)
 (規格【右】：縦10cm×横10cm×高さ8cm)



1 教材・教具の説明

== 蓋を開けることに課題のある児童生徒に向けた教材 ==

- ・ より開け閉めしやすい十字蛇口を真似して作った。
- 指をかける場所を手掛かりにしながら、開けることができる。
- ・ 透明容器を使い、中に好きな物を入れて取り組んだ。
- 「取り出したい！」と意欲的に蓋を開けることができた。

☆ 左右にくるくる回して、なかなか開けることが出来ない児童に対してのオススメPOINT！

- ・ 数回回すだけで開けることができる容器の蓋を用いている。
- 「自分で開けた！」と、達成感を感じやすい。
- ・ 十字の一部に赤テープを貼り付けた。
- 赤いテープが一方向回っていることに注目が向くよう言葉掛けをしながら取り組んだことで、左右に回すことが見られなくなってきている。

☆ 手を握り変えながら回し続けることが難しい児童に対してのオススメPOINT！

- ① 「トン。」(蓋の上に手を置く。)
- ② 「ギュッ。」(蓋を上から握る。十字の部分に指をかける。)
- ③ 「クル。」(一方向に回す。)

と、手の動きに音を付けて取り組むようにした。

参考文献・Web	
----------	--

